

アソデにおいて  
シアバターノキからバターの加工をおこなう機械を  
設置するための建物建設プロジェクト



## 目的

2021年に私達はアソデ村に中学校用の校舎を建て、同時に、「あらゆる少女を学校へ」のプログラム内で学校や村で宣伝活動を行いました。このたび、連帯のアクション会は、この小さな村アソデに村民のために建物を建てることにしました。それはシアバターノキの実の加工用の機械をそこに収納するためです。

アソデは、ベナンの北西に位置するドンガ県内の、およそ8万人の人口のウアケ地区の村はずれにあります。この村で作業を開始することで、この村の子供たちの過半数、とくにおさない少女たちが学校に通っていないことが認識されました。

それには二つの主な原因があります。

- まず第一にここでは経済があまり分化されていず、綿花生産だけに頼っていることです。この村は非常に片田舎にあり、**住民の生活程度は非常に低く**、住民の支出のほとんどは生活維持に当てられています。ほとんどの村人たち

には子供たちを学校に送るよりも、できるだけ早く働かせ、収入を少しでも増やすのが大事に見えます。

- 第二に、何人かのわかい少女たちが、単に食事を買うために売春をして、そのせいで自分の技術習得に集中できにくいことを私達は確認しました。

この村の経済状況を改善するために、**国は数年まえにシアバターノキの実を加工するための機械を提供しました。**しかし国はこの機械を収めるに必要な場を作って、きちんと生産を開始するための助けを村人に与えていません。

## 問題

財政手段が欠けているため、その場は、造られず、機械は一度も使われずに、諦められていました。

## 私達の解決提案

私達はこの機械を収用できる建物の建設を提案します。

このプロジェクトは、住民が、政府から使用するために受け取った機械を全部、シアバターノキからバターを加工するために使って、バターを売れるようにすることが目的です。私達はさらに、この収入がアソデの家庭のために使われ、とくに少女たちが社会の真ん中に帰属するよう保障できることを望んでいます。